

# 学校の風景

## 生徒指導・教育相談を充実させ 学力を向上させます！



岩槻区 西原小学校 校長 竹田 忠一

### 1 多面的な実践で結果を出す西原小

開校以来36年続く人形教育などの良き伝統を受け継ぎつつ、西原小は今、大きな成長をとげている。学力向上の研究を核として、生徒指導・教育相談、英会話、食育の4つの研究指定を同時に進め、結果を出しているのである。「学力は、ルールを守るという基本の上に成り立つものである。早寝・早起き、時間を守る、挨拶・返事、食事などは、その基本であり、自己肯定感や自己有用感といった心の安定の上に学力は付く。」という考えのもと多面的に研究を進めているのである。

### 2 希望の登校「正のスパイラル」



欠席が多く、不登校等課題を抱えた児童に多くの時間と力を要していた実態から、まず年間の欠席数を2割削減しようという数値目標をミッションに様々な取組をした。「ほめて認める指導をし、夢と希望をはぐくむ」を合言葉に、『学校に来てもらう→いろいろなことができるようになる→ほめられる→喜んで学校に来る』、という良い流れを作っている。

### 3 実践！ 保護者と協力 中学校と連携

- ① 教師力アップ 教職員が力を付ける研究授業、教育相談、危機管理対応など。
- ② 家庭と連携・協力 「西原っ子生活習慣向上キャンペーン」や「げんきだより」により、家庭から学校に児童を送り出してもらう取組など。

- ③ 西原中学校と連携・協力 中学生が小学校の正門で行う「あいさつ運動」、小・中学校の先生が一緒に行う研修会など。



中学生による朝のあいさつ運動

### 4 子どもたちの満足 保護者の喜び

下の表1は、保護者の学校評価の結果（4段階評価のうちの最も良いA評価についての割合）を3年間並べたものである。

表1 / 年度	24	25	26	伸び
楽しく学習している	55%	53%	71%	+16
あいさつができる	13%	23%	31%	+18
清掃ができています	13%	29%	43%	+30
授業がわかりやすい	45%	49%	65%	+20

(伸びは平成24年度と平成26年度を比較したもの)

表2は3年間の欠席児童数の推移である。

表2	年度	H24	H25	H26
毎年 12月末 で集計	欠席数(人)	2320	1714	1367
	1日平均(人)	15.5	11.4	9.0
	前年比(%)		-26%	-20%
	前々年比(%)			-41%

欠席が大幅に減り、子どもたちの力が伸びているのを実感している。一層の教育の充実、力を合わせがんばっていききたい。